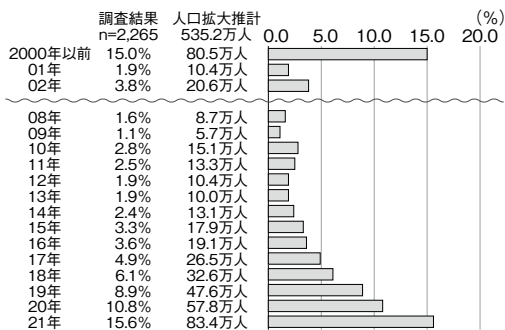


複数拠点生活に関する意向調査

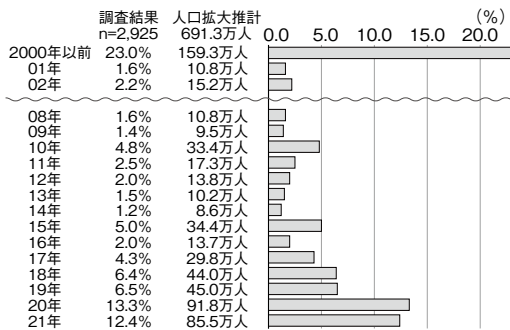
調査概要

複数拠点生活に関し、全国20～78歳男女の複数拠点生活実施者・意向者を対象に、インターネット調査を実施した。調査期間2021年11月17～24日。サンプル数5,190。

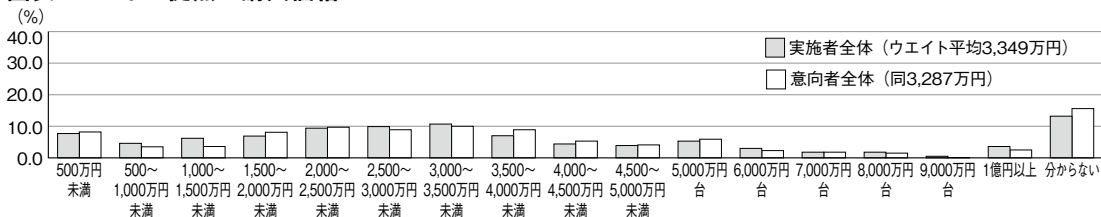
図表1 実施者の実施開始年



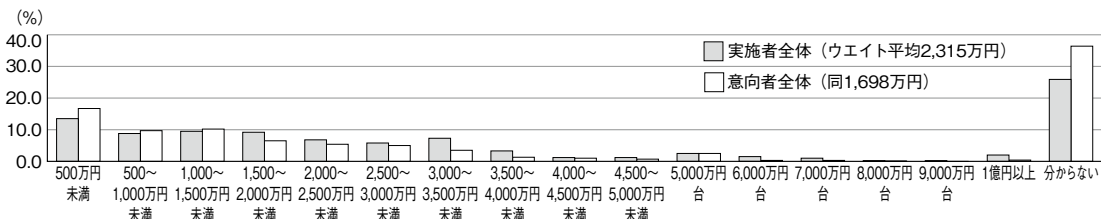
意向者の検討開始年



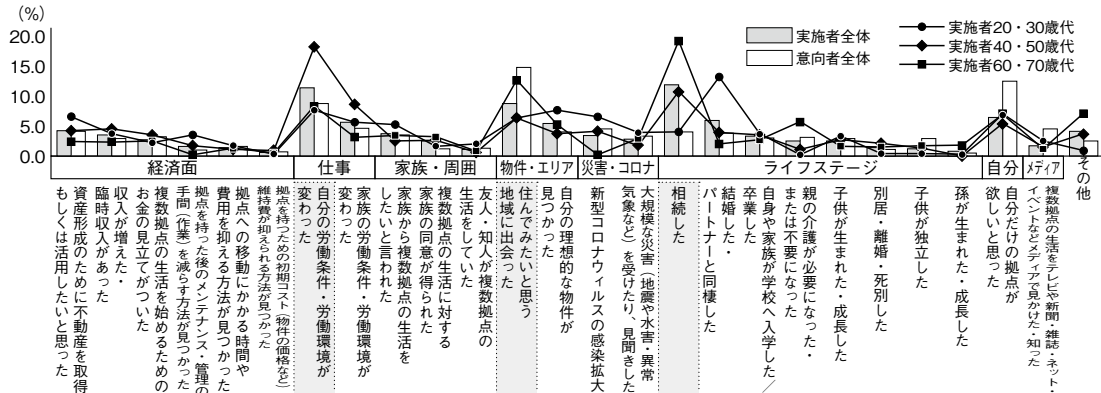
図表2 メイン拠点の購入価格



サブ拠点の購入価格



図表3 複数拠点生活を始める／始めたいと思った決定的なきっかけ



ポイント

複数拠点生活を17年以降に実施した人が全体の約半数にのぼっている。意向者の検討開始年はコロナ禍以降の20・21年で全体の約4分の1を占めた(図表1)。メイン拠点を持ち家の人は、実施者・意向者共に購入価格は平均約3,300万円(図表2)。「相続」「労働条件・環境の変化」が、実施者のきっかけの上位に。意向者は「住んでみたいと思う地域に出会った」が突出して高い結果に(図表3)。

資料出所：(一社)不動産流通経営協会発表資料「複数拠点生活に関する意向調査」を基に編集部作成